

市長の「所信表明」
に見る市民目線

市民と歩む会
代表質問者 河本英敏



河本

高橋

村田

野村

黒見

質問 ↓ 津山市を取り巻く現状は。

答弁 ↓ 景気の低迷、雇用環境が悪化する中で、市民の要求は複雑多様化する一方、政権交代により、「計画行政の遂行が困難」と分析し、こうしたとき、厳しい変革のときだからこそチャンスととらえ、現場(市民)の声を大切に市政にあたりたい。

質問 ↓ 市長のいう『現場』とは。

答弁 ↓ 市民が日々生活を営む場、市民の声を聞く担当職場、解決すべき課題が起こったり対処している場所等の総称。

質問 ↓ クリーンセンター事業の検証作業は。いつ作業を終わるか。

答弁 ↓ ①公募申請書②適地選定委員会での選定③領家町内会との覚書④建設用地の土壌と残土処理⑤土地買収⑥関係住民への対応など、検証の過程で疑義が生じた事項を含む。七月末を目標にしている。

質問 ↓ 「津山に定住できる」ためには経済、仕事が必要。データ集計や分析が必要。昨年度の若年者の年間所得状況は。

答弁 ↓ 二百万円以下は、二十一〜三十歳が八千六百人中、六千四百人、三十一〜四十歳が一万一千六百人中、六千人。景気の悪化は若年層に影響が出ている。

質問 ↓ 現在、土地開発公社等の負債は約百五十億円に上る。市が

毎年約二億円もの利子補給を行っているが、公社の経営改革をどのように考えているか。

答弁 ↓ 第三セクター等改革推進債

の活用による借入金の整理と並行し、津山産業・流通センターへの企業立地の一層の推進と、単なる債務整理ではない、産業の集積、雇用の創出に取り組みたい。

質問 ↓ 「外環状道路」の機能と整備方針は。

答弁 ↓ 不要な通過交通を迂回させる機能を担う。中環状の整備状況

況を踏まえ検討するが、市道拡幅等は交通量と緊急性を勘案し、地元の協力が得られる箇所を整備する。

質問 ↓ 安全安心の観点から、運転免許証返納制度の普及は。

答弁 ↓ 県警の運転免許証自主返納カード「おかやま愛カード」の割引制度等を高齢者交通安全教室等で広く周知する。

質問 ↓ 地デジテレビ導入、臨時交

付金事業一億二千六百万円で五千万円の入札残は安売り合戦に過ぎない。地域活性化、景気対策、経済対策の効果はないと思うが。廃棄の五百台について家電リサイクル法に基づく処理は適正か。

答弁 ↓ 一定の効果はあったと思う。内容などを踏まえて今後の研究課題としたい。調査の結果、最終は六月十日で、五カ月程度かかってリサイクル法に基づく処理をした。